



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第42号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年1月15日(金)発行

- 【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
- 【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
- 【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



生徒会引継式を行いました！

★前生徒会長 中川丞太郎さん★



今年の1年間は、生徒会では様々な取組を行ってきました。特に大きな取組の例として、「校区内クリーン大作戦」、「あいさつシール大作戦」、「よっしゃいいね！」などその他にも活動を行ってきました。このような活動の様子を見ていて、今年の年間スローガンであり、吉井中の生徒の「いいね」を増やそうという思い

でつけた「よっしゃ、いいね、吉井中」は達成できたと僕は思っています。

新型コロナウイルスの影響で、皆さんも理解している通り、大変な一年になりました。しかし、先ほど言ったような大きな取組を行うことができたのは、生徒の皆さんが真剣に生徒会活動に協力してくれたおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

吉井中の生徒の皆さんのいいところは、失敗を繰り返さないことだと思います。文化部の新しい取組で行った「先生クイズ」のことを覚えていますか。最初はとても良いとは言いがたく、残念だと思いました。しかし、注意した後からは、多くの方が正しく取組に協力してくれました。他にも、どんな取組を行っても、最初に比べて必ず良くなっていました。これからも、そこを続けてください。

ここで1つ、現在頑張らないといけないと思うところを確認しておきましょう。1つ目は、「ボールの使用法」です。前に比べて改善はされているように感じますが、皆さんならもっとできると思います。ご協力お願いします。2つ目は、「感染症への理解がまだできていない人がいること」です。例えば、換気を毎時間の休み時間に行うクラスが少なかったり、昼休みにマスクを平気でつけていない人がいたり意識の低さを感じます。感染症対策として日本中、世界中で行っています。日本では、一都三県に緊急事態宣言が出されています。昨年よりも危機感をもって生活してください。

最後になりましたが、昨年的一年間のご協力、本当にありがとうございました。僕たちの一年間の取組で、良いところは伝統として引継ぎ、課題点は改善しつつ、次の生徒会役員には今よりパワーアップした吉井中にしてほしいと思います。また、そのためには皆さんの力が必要です。より良い吉井中になることを願って、引継ぎのあいさつとします。

一年間ありがとうございました。

★新生徒会長 松瀬彰博さん★



おはようございます。新生徒会長の松瀬彰博です。一年間よろしくお祈りします。

さて、今年考えている生徒会活動方針については、まずPTAとの共同の活動を実施することです。前年の生徒会で行った活動で「校区内クリーン作戦」の存在が大きい

かと思います。コロナ禍で生徒会役員の任期が少ない中、保護者と共に行える素晴らしい活動になり、またテレビにも取り上げられたことにより、吉井中の生徒会の活動を発信できる機会になったので、今年もこのような、生徒会の専門委員会ごとに考え出している新しい取組に力を注ぎたいと思っています。

そして、次に校則の再確認にも取り組んでいきます。様々な校則があり、理解しきれていないように見受けられます。例えば、最近気になっているのが前髪の長さです。校則としては、前髪は男女を問わず、眉の上までとなっています。特に女子については、眉にかかっている生徒が多いと感じます。ある生徒に聞いてみても、知らなかったという声があがり、やはり校則の再確認は必要だと思っています。校則を守ることで、みんなが過ごしやすく、そして吉井中の質も上がると思います。また、コロナウイルスへの感染予防を完璧にできる学校にもしていきたいと思っています。日本中で、また身近な佐世保市内でも多く感染が確認されていますが、吉井中からはこれからも絶対に出してはいけないと思っています。そのためにも基本的な感染予防対策ができる学校をつくっていきます。

話は変わりますが、生徒会と聞いて、会長や副会長、専門委員長などの十数名を思い浮かべる人もいます。しかし、それは生徒会役員であり、生徒会は全校生徒一人一人がいての生徒会です。今年は、生徒一人一人が生徒会活動にもっと深く関心をもってくれるように頑張ります。

最後に、今年もコロナウイルスで学校がどうなるかわかりませんが、3年生から引き継いだ伝統ある吉井中、そして生徒会を、先輩の思いを引き継ぎつつ、今よりもっとより良くするために、良い活動を企画・実施していきます。そして来年の引継ぎ式で、今年の生徒会がとて良かったと思われるよう委嘱する専門委員長・副委員長、そして執行部が一体となって頑張るので、よろしくお祈りします。

どうぞよろしくお祈りします！

生徒会役員(敬称略)

●執行部

生徒会長 松瀬彰博
副会長 大石廉真 江口宝輝
書記 眞浦太陽
会計 山内さくら



●専門委員

	<u>委員長</u>	<u>副委員長</u>
学 習	高田悠樹	川端愛花
保 体	前田和令	大庭 遙
美 化	岩崎玲愛	八波彪人
生 活	柴田光愛	菰田蒼真
給 食	ジャバル 亜美	野口寿来
文 化	眞弓優花	松瀬怜奈

文化面も頑張っています！

1月11日付長崎新聞に掲載されました。
3年生が修学旅行の思い出を詠みました。

★ジュニア俳壇・歌壇入選：長崎新聞（敬称略）

【俳句の部】*すべて佳作*

「露天風呂 友とかたらい 星座みる」
3年 前岳 伸孝

「歩くたび 迫力増してく 阿蘇の山」
3年 奥 憲吾

「秋空に 夕日が語る 一日を」
3年 田中 柊羽

「夕日背に ゆれるすすきは 秋の色」
3年 増山 莓

「阿蘇五岳 大地にねそべる 仏のよう」
3年 宿利 愛来

「阿蘇五岳 秋色残して 冬 じたく」
3年 浅田菜々美

「砂金取り 冷たい手の横 輝く金」
3年 満潮 康大



【和歌の部】*すべて佳作*

「山の端に 静かにしずみ まだほんのり 照らし
てくれる 夕の太陽」 3年 柴田 鈴乃

「秋の朝 きれいな山に 霧かかり 霧のあいまに
阿蘇五岳見ゆ」 3年 高田 瑞稀

「女子部屋の 夜遅くまでの 笑い声 部屋の外ま
で 聞こえているかも」 3年 吉村 晴華



「校長からの挑戦状」って何？

本校のHPに「校長からの挑戦状」というコーナーをつくっています。もっとたくさん、もっと深く学びたいと思っている人の役に立てばとの思いで始めました。「挑戦状」もすでに28回目となり、多くの生徒の皆さんに利用してもらっています。中には、印刷して家庭学習にしている生徒もいるそうです。

今日は、その中から出題してみます。
ちゃんと解けるかな？時差の問題は難問です！

問1:(時差の問題・難問ですがチャレンジ！)



Aさんが、日本からイギリス旅行に出かけた。日本の成田空港を飛び立った飛行機は、西に向かって飛んだ。1月15日の9時30分に日本を飛び立った飛行機は、現地時間(イギリス)の1月15日の15時30分に到着した。Aさんが乗った飛行機の日本からイギリスまでの飛行時間は何時間ですか。

問2:(頭のトレーニング・思考を柔軟に！)



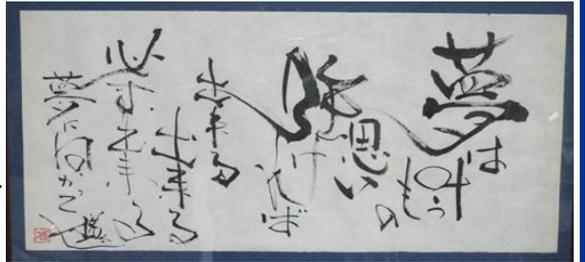
Bさんは、午前9時に家を出て、車で目的地に向かった。そして、目的地で用事をすませた後、同じ道を車で引き返し、その日の正午までには帰宅する予定であった。ところが、途中の道が工事などで予想外に混んでいたため、目的地に着くまでに、予定の2倍の時間がかかってしまった。しかし、帰りはラッキーなことに道がすいていたので、行き4倍のスピードで車を走らせた。Bさんの計算では、行き帰り、同じスピードで走れば、ちょうど正午に帰宅できるはずであった。さて、Bさんは正午までに家に帰りつくことができたでしょうか。

目的地での所要時間は、予定通りで、短縮などなかったものとする。

さあ、どうですか？頭をフル回転させて考えよう！皆さんも、どうぞ「校長からの挑戦状」をテスト前や時間があるときに活用してください。役立つかも！

いよいよ高校入試が始まります！

本日の私立高校推薦入試を皮切りに、高校入試が本格化します。



13日には、受験に向けての確認のための集會も開かれました。まずは2月3日の公立前期入試まで頑張ろう！「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」(上杉鷹山)頑張れ!!

